

2016年3月3日 木曜日

## ○ 開会あいさつ

シンポジウム開催にあたり実行委員長小林真也先生による挨拶がありました。「ようおいでたなもし」という伊予弁でのおもてなしのあと、本会が地域におけるサイバーセキュリティの情報発信、人材育成の場になればと挨拶されました。

引き続き愛媛大学尾道大学名誉教授田崎三郎先生から開会の挨拶がありました。マイナンバー制度のセキュリティが重要ですが、ITの現役技術者やOBにアンケートを取ったところセキュリティに関する信用が心配される声の大きいとお話がありました。



## ○ 基調講演



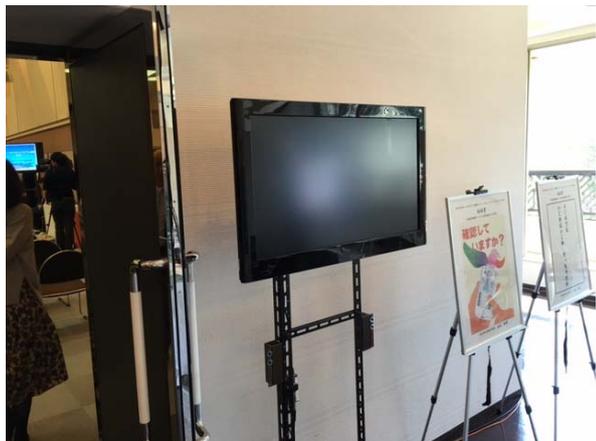
「公的個人認証サービスの民間利用について～日々の生活がどう変わる?!～」というテーマで大山永昭先生の講演が行われました。

マイナンバーカードは現状の制度（納税、社会保障など）における現金給付などを確実に効率的に行うために導入されています。マイナンバーカードの1つの機能としてJPKIを使った個人認証サービスがあります。マイナンバーカードはサイバースペースにおけるパスポートになります。マイナンバーカードにより、家のテレビやスマホなどから、

自治体情報、民間サービスが利用できるようになることが期待でき、現在我々が利用している多数のIDとパスワードが必要なくなるかもしれません。現在これらの実証実験が始まっていて、病院での支払いと保険証確認が可能になる実証ビデオなどが紹介されました。会場からは、電子データとして残ってない過去のデータまでさかのぼれるかという質問がありましたが、例えば年金については過去の情報にさかのぼれるよう整備されるだろうとお話しされました。

## ○ 会場の新しい試み①

企業ブースを見ながら会場内の様子もうかがえる場外モニターがありますのでご活用ください。



## ○ 会場の新しい試み②

会場には「かぶりつき席」が用意されています。良い席ですよ。どなたでも利用できます。



## ○ 会場の新しい試み③

1階視聴覚室にサテライトルームがあります。一服するときはこちらでどうぞ。

